

No	①課題	②取組	③連携方策	備考(長期計画等の位置づけ)
1	進学・就職の 統計的な傾向分析	・共同研究の実施	・前橋6大学を中心として、行政・産業界とデータ提供や意見交換などについて連携。前橋市における高等教育についての基礎情報の収集や、その分析を実施する。分析により得られた課題について、プラットフォームを通じて提言を行う。 ・行政、産業界、教育界が相互に情報共有を行える基盤作りを整備する。	事業No.19 大学等の活性化
2	若者定着のための、 市内高等教育機関への 進学率向上	・共同大学説明会の実施 ・共同の奨学金制度の検討	・18歳人口の市内定着を促進するため、主に前橋6大学で共同の進学に関する説明会を実施する。行政や産業界から、会場提供や説明会開催告知について支援をいただきたい。 ・行政、産業界、教育界共同の出資等による、共同の奨学金制度の検討を行い、前橋に定着するメリットについて若者に認識してもらう。	
3	高大産官接続の充実	・高校生を対象にしたキャリア開発プログラムの実施 ・共同教育プログラムの開発	・ミライバシ(前橋市主催)への参画を通じて、前橋市内の大学(進学)、前橋市内の産業(就職)を見据えた、高校生のキャリア開発を行う。前橋6大学と産業界を中心に参画し、市内全域の高校生への周知を行う。 ・前橋6大学で連携し、高校から大学への進学、大学から企業への就職まで、一貫した教育プログラムを通じて、未来の前橋が求める人材像に合致する若手人材を育成する。必要に応じて行政、産業界へ協力を依頼したい。	
4	未来の前橋市を牽引する 高等教育機関に発展を 遂げるFD・SDの充実	合同FD・SDの開催	・主に前橋6大学を中心に、大学教員の教育能力を高めるための実践的方法や、大学の管理運営や教育支援の質向上を図るための事務職員等の職能開発を行う。	
5	国際交流プログラムの開発	・留学プログラムの開発	・地域のグローバル化が進む現代において、官学共同の留学プログラムを開発する。グローバルに関する、前橋のニーズをくみ取る等、単なる語学留学の域を超えた、前橋版グローバル人材の育成を実施する。	
6	共同公開講座の実施	・共同で公開講座を開催	・地域の大学として、市民に教育を還元する取組を行う。行政・産業界の広報や講師などの協力を得て、前橋の生涯教育の活性化と地方大学の存在意義を確立する。 ・6大学で連携し実施することで、各大学にない分野の補完や、前橋市内の総合的な教育分野を発揮した講座提供を実施する。	
7	持続可能なプラットフォーム 体制整備	・他県先進コンソーシアムへの視察の実施 ・シンポジウムの開催	・本プラットフォームを持続的かつ発展的な組織にするために、先進的なコンソーシアムやプラットフォームへの視察を行い、行政、産業界、教育界の視点で分析する。 ・本プラットフォームの地域への認知を図る為、外部向けのシンポジウムを開催する。	

No	①課題	②取組	③連携方策	備考(長期計画等の位置づけ)
8	初等中等教育支援	・小中学校コミュニティスクール化の支援	・未来の前橋市を支える人材(子ども)の育成について、前橋市教育委員会と連携し、小学校や中学校の学校運営支援を通じて実施する。	事業No.19 大学等の活性化
9	地域における災害対策の連携	・リスクマネジメント委員会の設置	・行政(特に危機管理室)、前橋6大学で連携を図り、前橋市内で市民の避難等が必要な事態が起こった場合にも、迅速に受け入れることができる体制を整備する。	事業No.19 大学等の活性化
10	若者定着のための、市内就職先への就職率向上	・若者定着に向けた異業種交流会の開催 ・ハタラクラスぐんまとの連携 ・市内定着者への奨励金	・行政、産業界、前橋6大学の連携により、学生と若手社員の交流を通じて、市内職場の理解や、就職先選択の一つとして市内定着を考えてもらうよう働きかけを行う。 ・留学生の市内定着を促進する取組の一つとして、例えば、群馬大学で実施するハタラクラスぐんまと連携し、前橋市内企業と留学生の橋渡しを行う。 ・市内定着を促進し、就職後の生活負担を軽減できるような奨励金を給付する。	事業No.20 学生の定着促進 事業No.21 UIJターンの奨励
11	高等教育機関の特色を発揮したリカレント教育の充実	・リカレント教育プログラムの開発	・社会人の学びなおしとして、福祉人材やビジネス人材等の教育プログラムを実施するため、産業界・行政からのニーズやノウハウを提供してもらう。	事業No.22 ベンチャー・ヘブン 前橋の実現 事業No.23 市内企業の事業継承・人材育成支援